使用上の注意

コンデンサ設置時の機器配置の注意

コンデンサ及び直列リアクトルを受電室やキュービクルに収納する場合には、熱影響の抑制、保守点検のために、機器配置については十分注意して配置することが必要である。

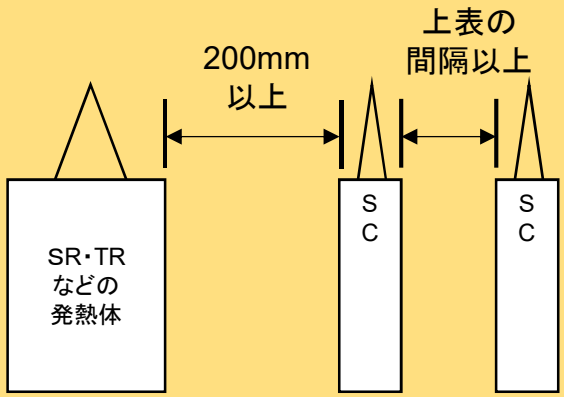
①コンデンサ同士の間隔は、右表以上の間隔とする

②直列リアクトルや　変圧器になどの発熱機器との間隔は、200mm以上とする
(キュービクル式高圧受電設備推奨の手引き及びキュービクル式非常電源専用受電設備認定の手引き)

③建造物と側壁間は、防火構造又は耐火構造の受電室などでは、200 mm以上側壁から離す　(高圧受電設備規程)

④可燃性油封入の高圧進相コンデンサを設置する場合は、可燃性の壁、天井などと1 m以上隔離する　(内線規程)

⑤高圧進相コンデンサ及び直列リアクトルを受電箱に収納する場合は、受電箱の下部に取り付け、上部及び周囲に必要な空間として、上部275 mm以上、それ以外の周囲にあっては、100 mm以上の空間を設けることが必要　(JIS C 4620　キュービクル式高圧受電設備)

⑥絶縁最小距離として、70 mm以上は確保

コンデンサ容量	間隔
106kvar以下	70mm以上
160～213kvar以下	80mm以上
266～319kvar	90mm以上